



すずか

—— 発行 ——

鈴鹿市農業委員会

—— 編集 ——

広報研修委員会

TEL 382-9018



農業委員会総会の様子

鈴鹿市農業委員会は、鈴木会長をはじめ19名の農業委員により、原則、毎月14日に、総会を開催し、農地の権利移動、農地の転用案件などの審議を行っています。また、農地利用最適化推進委員(25名)と共に、農地利用の最適化の推進(担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)に関する活動を行っています。

新たな農業委員が就任しました



農業委員1名に欠員が生じておりましたが、令和6年7月1日から新たな農業委員が就任しましたのでお知らせします。

たち のり かず
館 宣 一 (深溝町)

主 な 内 容



- ・農地転用を伴う太陽光発電設備の設置に関するガイドライン
- ・作業機付きトラクタの公道走行についてのルール

P 2

- ・令和7年4月から変わる農地の貸借方法

P 3

ガイドラインとルールを確認しましょう

令和6年8月1日より

「農地転用を伴う太陽光発電設備の設置に関するガイドライン」 を施行しました。

鈴鹿市農業委員会では、農地転用を伴う太陽光発電設備の設置に関する農地法手続きの円滑化を図るとともに、事業者と周辺の農地所有者、耕作者及び周辺住民との円滑なコミュニケーションを促すことで、転用行為によるトラブルを未然に防ぐことを目的に「農地転用を伴う太陽光発電設備の設置に関するガイドライン」を策定しました。

鈴鹿市内の農地で太陽光発電設備の設置を検討している事業者や農地所有者は、このガイドラインの趣旨をご理解いただき、計画地の選定の際には、あらかじめ鈴鹿市農業委員会と協議するようお願いします。

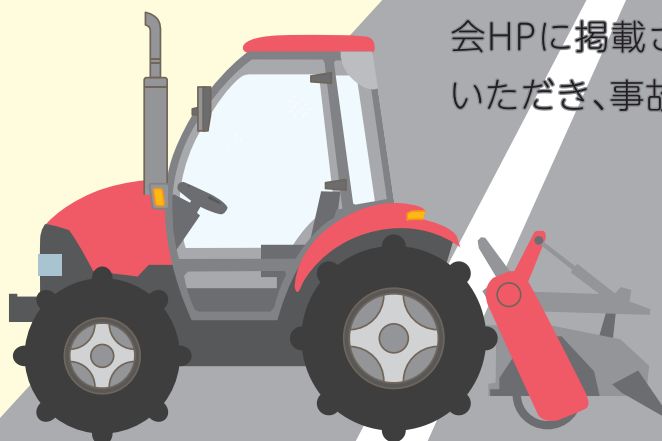


作業機付きトラクタの 公道走行について ルールを確認 しましょう

農作業事故における死亡事故要因
第1位は、トラクタ乗車中の事故です。

作業機付きトラクタの公道走行については、保安基準を満たす等の法令順守が、事故の発生を抑制するうえで極めて重要です。

※詳細については、農林水産省HPや日本農業機械工業会HPに掲載されておりますので、内容についてご確認ください、事故の発生防止に努めてください。



農林水産省HP

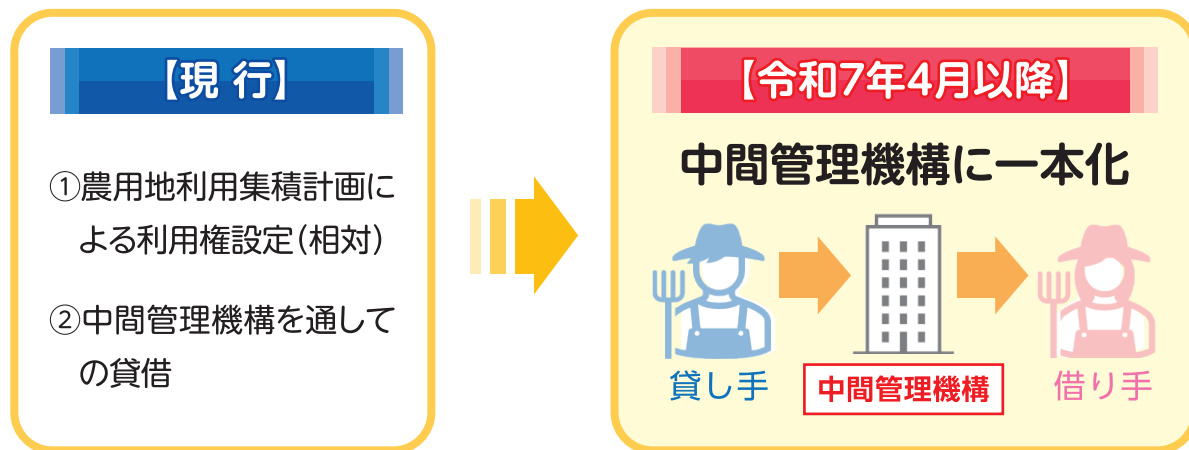


日本農業機械工業会HP

令和7年4月から農地の貸借方法が変わります

関係法令の改正により、これまで市で行われてきた、農地の貸し手（地権者）と借り手（耕作者）の「利用権設定（相対）」による農地の貸し借りの手続きは令和7年3月31日をもって廃止され、令和7年4月1日以降は「公益財団法人 三重県農林水産支援センター（農地中間管理機構）」を経由した農地の貸し借りに一本化されます。

※農地法に基づいて農業委員会の許可を受けて権利設定を行うことは可能です。



※現在の契約の期間満了日までは有効です。

中間管理機構活用には各種メリットがあります！

貸し手のメリット

- 賃料は農地バンクから確実に振り込まれる
- 貸した農地は、貸付期間終了後、返却されるので安心



借り手のメリット

- まとまった農地を長期間、安定的に借受できる
- 複数所有者から農地を借りる場合であっても、賃料支払や契約事務について、農地バンクが契約を一本にまとめてくれる

お問い合わせ先

【利用権設定(相対)に関すること】

鈴鹿市 産業振興部 農林水産課

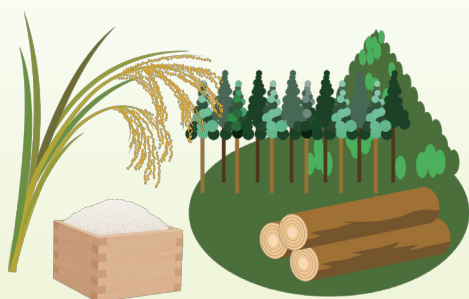
TEL 382-9017

【中間管理機構に関すること】

公益財団法人 三重県農林水産支援センター

〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町530番地 TEL 0598-48-1228

2025年 農林業 センサス が実施されます



農業、林業の実態を把握し、今後の農林業政策に役立てるために行われる5年に一度の大切な調査です。

令和7年1月中旬から調査員証を携帯した調査員が調査票を配布しますので、ご回答をお願いします。（インターネット回答が大変便利です。是非ご利用ください。）

調査票に記入された事項については、統計以外の目的には使用されませんので、調査へのご協力をお願いします。

農林水産省・三重県
鈴鹿市 政策経営部 総合政策課
TEL 382-7676



『農業者年金』に加入しませんか

6つのメリット

- メリット① 農業者は広く加入できます
- メリット② 終身年金。老後を最後までサポート
- メリット③ 全額社会保険料控除で大きな節税効果
- メリット④ 保険料が自分で選べて、いつでも見直せます
- メリット⑤ 条件を満たせば、月額最大1万円の国庫補助
- メリット⑥ 少子高齢時代に強い積立方式・確定拠出型の年金



☆詳しくは農業委員会事務局又はJAまで

編集後記

元旦の大地震から復興途上にあった石川県の能登地方が、9月には記録的な大雨により、またも甚大な被害に見舞われました。被災されたすべての方々には、心からお見舞い申し上げます。

鈴鹿市においても南海トラフ地震の発生が危惧されています。日頃から災害に対する備えをしておくことが大切です。